MITSUBISHI

三菱ユニットクーラ(UCH・UCL形)

工事説明書

UCH-2・3・4・5・6DNA
UCL-2・3・4・5・6DHA

目 次

1．安全のために必ず守ること……1
2．使用上のご注意……2
3．各部の名称……2
4．ご使用の前に……2
5．据付場所・据付方法について…3
6．電気配線……4
7．試運転時のご注意……8
8．お手入れのしかた……8
9．ようすがおかしいとき……9
10．保証条件・アフターサービス…10
11．仕様……11

ご使用の前に必ずこの「工事説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたときお役に立ちます。
なお，特殊仕様品につきましては製品の細部がこの説明書と若干異なる場合があります。

1. 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に，この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
●ここに示した注意事項は，安全に関する重大な内容を記載していますので，必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

●お読みになったあとは，取扱説明書とともに，いつでも見られる所に必ず保管して，移設時に読み直してください。

⚠警告

据付けは，工事説明書にしたがって確実に行う。
●据付けに不備があると，冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。

据付けは，重量に十分耐える所に確実に行う。
●強度の不十分な所に据付けると，ユニットが転倒落下により，ケガの原因になります。

電気工事業者による第3種接地工事を確実に行う。
●アースが不完全な場合は感電の原因になります。

電気工事は，「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し，工事説明書にしたがって施工し，必ず専用回路を使用する。
●電源回路容量不足や施工不備があると，火災・感電の原因になります。

配線は，所定の電線を使用して確実に接続し，端子台接続部に接続電線の外力が，伝わらないように確実に固定する。
●接続や固定に不備があると，発熱・火災の原因になります。

ユニットの端子台カバー（パネル）を確実に取付ける。
●端子台カバー（パネル）の取付けに不備があると，端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

水のかかるおそれのある場所には据付けない。
●水がかかると，発火や感電の原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外の冷媒や空気などを混入させない。
●混入すると冷凍サイクルが異常高圧となり破裂・ケガの原因になります。

安全装置の設定値変更はしない。
●設定値を変えると，ユニットの破裂･発火の原因となります。

冷媒サービス時は，火気を使用しない。
●冷媒サービス時は，火気を消してから作業してください。フロンガスに触れると有毒ガスが発生し，ケガの原因になります。

気密試験は確実に行う。
●冷媒が漏れると，酸素欠乏の原因になります。

⚠注意

漏電遮断器を取付ける。
●漏電遮断器が取付けられていないと，感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には据付けない。
●万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると，発火の原因になることがあります。

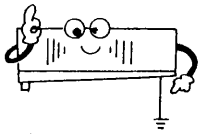
排水工事を確実に行う。
●除霜水などが屋内に浸水し，周囲を濡らす原因になることがあります。

サービスバルブ操作時は，冷媒噴出に注意する。
●サービスバルブ操作時は，冷媒が噴出します。このとき冷媒を浴びたり，裸火に冷媒ガスが触れると，ケガの原因になることがあります。

仕様の範囲内で冷凍サイクルを製作する。
●仕様を逸脱して冷凍サイクルを作ると，破裂・発煙・発火・漏電の原因になることがあります。

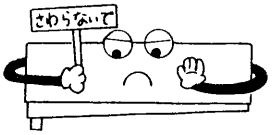
2. 使用上のご注意

■ 設置状態を確認してください。



●安全のため，アース端子から確実にアースが取付けられているか，確認してください。

■ ユニットのファン・ファンガードに直接手を触れないでください。



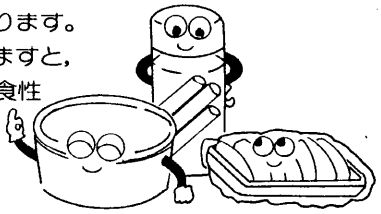
●特に除霜運転の後ユニットは，停止しているファンが突然回転することがありますので電源を切ってから点検してください。

■ ユニットに水をかけないでください。

●漏電のおそれがあります。

■ 腐食性雰囲気では使用しないでください。

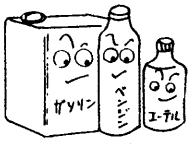
●酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は，密閉容器に入れてください。密閉されていない場合，冷却器が腐食し故障の原因となります。また，腐敗物がありますと，アンモニアなどの腐食性ガスが発生しますので，腐敗物を放置しないでください。



■ 冷却器ユニットの冷気吸込口や冷気吹出口の前に商品を置かないでください。

■ 危険物は貯蔵しないでください。

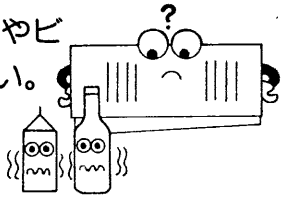
●エーテル・ベンジンなど揮発性・引火性の薬品や爆発物を貯蔵しないでください。引火の危険があります。また，ラッカーペイント等の強燃性スプレーをユニットの付近で使用しないでください。



■ 冷気吹出口の近くに牛乳やビールを置かないでください。

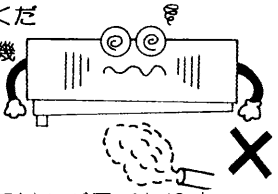
（冷蔵用UCL形ユニットの場合）

●冷えすぎて凍ることがあります。



■ 加湿器を冷気吸込口の近くに置かないでください。

●加湿器を設ける場合は，加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。蒸気を直接吸い込むと送風機の故障の原因となります。また湿度は90%RH以下でご使用願います。



なお，加湿器を使用する場合は，霜付きが早くなりますので霜取りの間隔を見直してください。

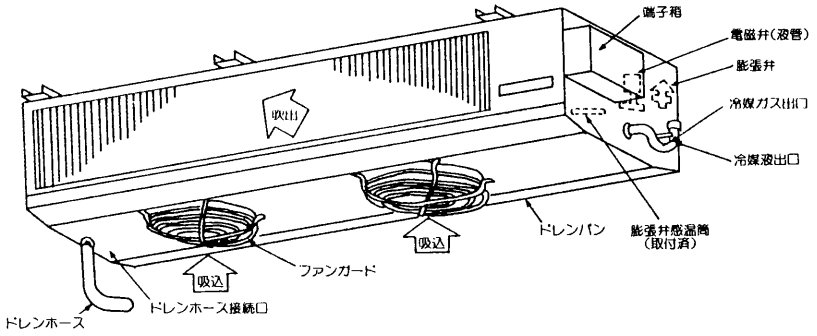
■ 適正な庫内温度で使用してください。

●ユニットは使用庫内温度により2タイプに分かれています。使用温度に合わせて適切な機種をご使用ください。

使用温度（庫内温度）

+3℃～15℃	UCH-DNA	オフサイクル除霜
−5℃～15℃	UCL-DHA	ヒータ除霜

3. 各部の名称



付属品

形　　名	ドレンホース	ドレンホースバンド	ドレンホースヒータ
UCH-DNA	1	2	−
UCL-DHA	1	2	−

4. ご使用の前に

■ ファンの回転を確認してください。

輸送のための包装やテープをはずし，ファンが支障なく回転するか手で回して確認してください。

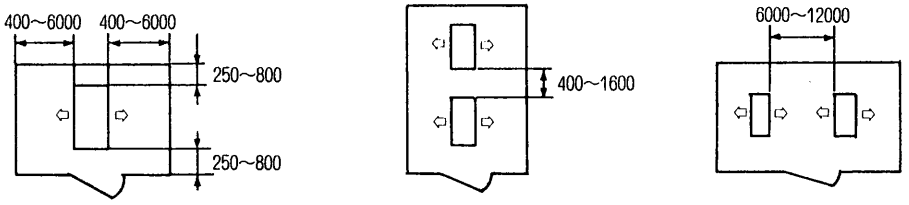
■ ユニット内のガスを確認してください。

ユニットの冷媒入口，出口パイプには栓がありますので，これを取りはずし内部に充てんしてあるガスを抜いてください。出荷時にじゅうぶん検査を行なってはいますが，もし，ガスが充てんしていない場合は，ガスリークが考えられますので，ガスリークテストを行なってください。

5. 据付場所・据付方法について

据 付 場 所

ユニットクーラは庫内中央の天井に取付けてください。

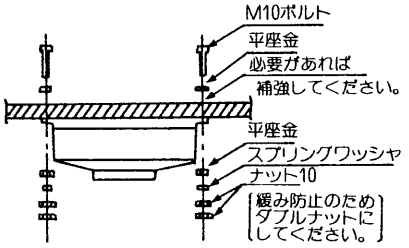


据 付 方 法

据付部の強度は十分に

天井に取付穴φ12㎜をあけM10ボルトを通して下側からダブルナットでユニットクーラを固定してください。

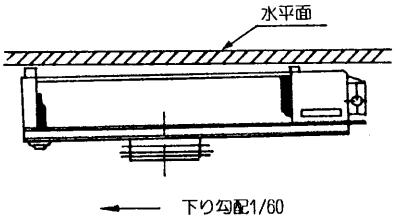
天井が弱い場合には，取付部に補強材を入れてください。



排水性の確認

排水を良くするため，普通に取付けるとドレンパンに傾斜が付くようになっています。天井が水平でない場合は1/60以上の勾配がとれるように取付けてください。

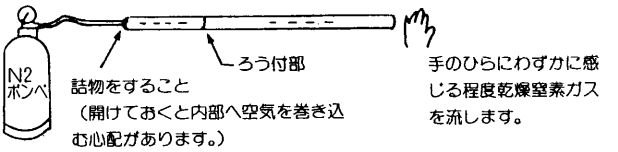
取付後，水を流して水はけを確認してください。



冷 媒 配 管

ろう付時の不活性ガス使用

ろう付時には酸化スケールが生成しないように乾燥窒素ガスなどの不活性ガスを配管に通しながら行なってください。



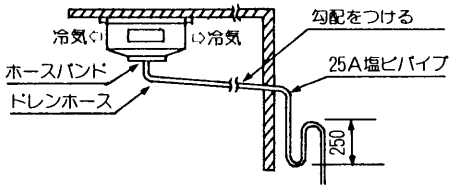
ドレン配管

ドレンホースの取付について

(1) 付属のドレンホースをホースバンドで固定してください。

(2) ドレンホースは必ず10°C以上の下り勾配を設けてください。

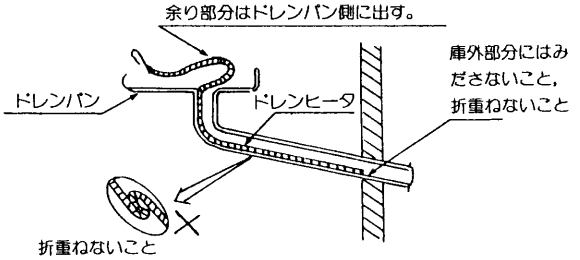
(3) ドレンホースは，庫外に導いた後Uトラップを設け，外気の侵入を防ぎます。
トラップの高さは250㎜位にしてください。



ドレンホースヒータの取付について

(1) 庫内温度が0°C以下の用途ではドレンホースヒータを取付けてください。
ヒータはドレンホースの庫内部分のみとし，庫外部分にはみださないよう注意してください。
使用条件によっては断線するおそれがあります。

(2) ドレンヒータは常時通電とし，シリコンベルトヒータを折重ねないようホースに挿入してください。ヒータの余り部分はドレンパン側に出して取付けてください。折重ねて使用しますと，ヒータが断線するおそれがあります。



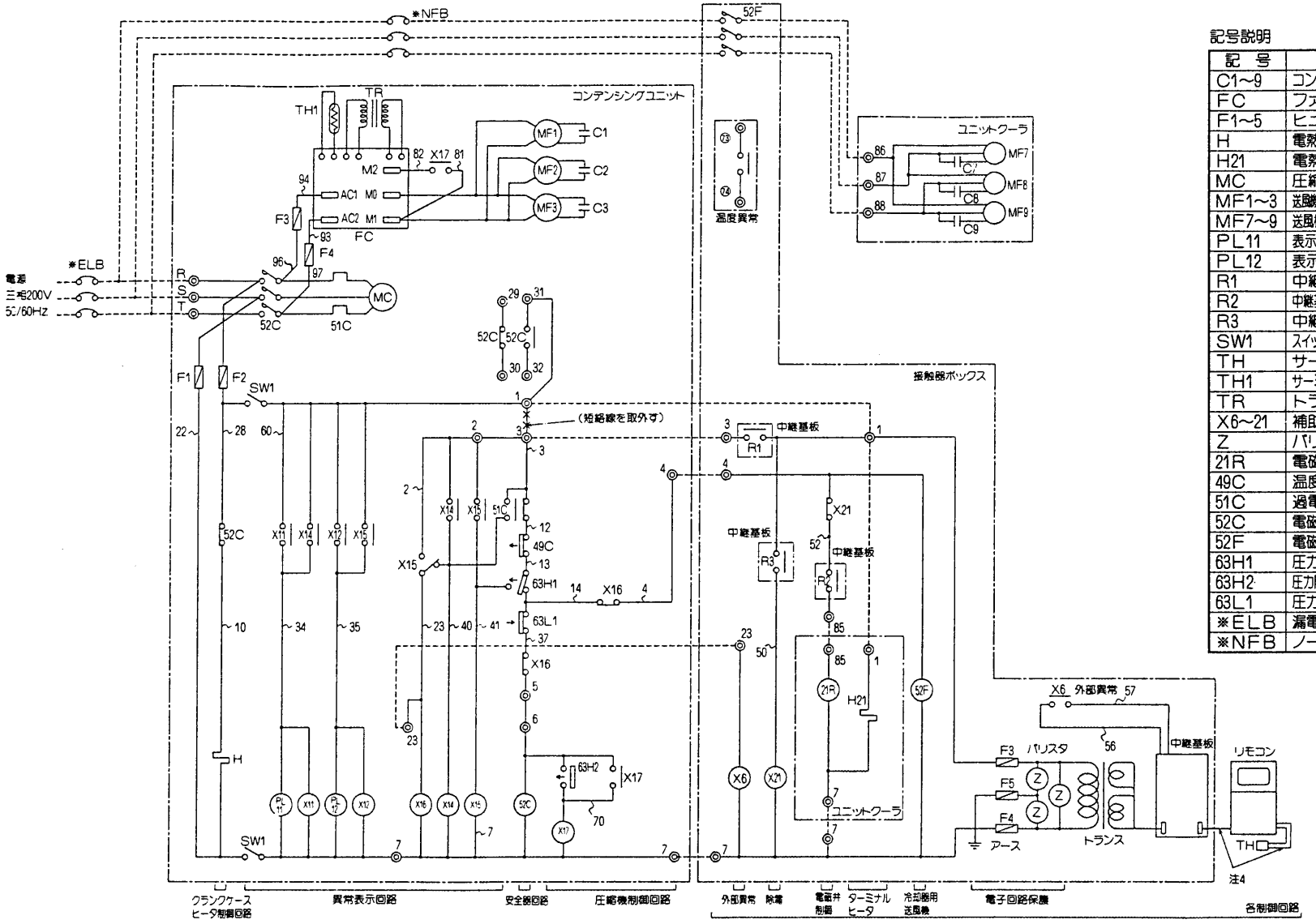
① マイコン式スタンダードシステム用コントローラ使用例

コントローラ：RBH-20NSB

注）1. ※印の機器は現地手配となります。
2. ――――線は現地配線となります。
3. 接点部の矢印は圧力・温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
4. 主回路配線・制御回路配線に沿わさないでください。

記号説明

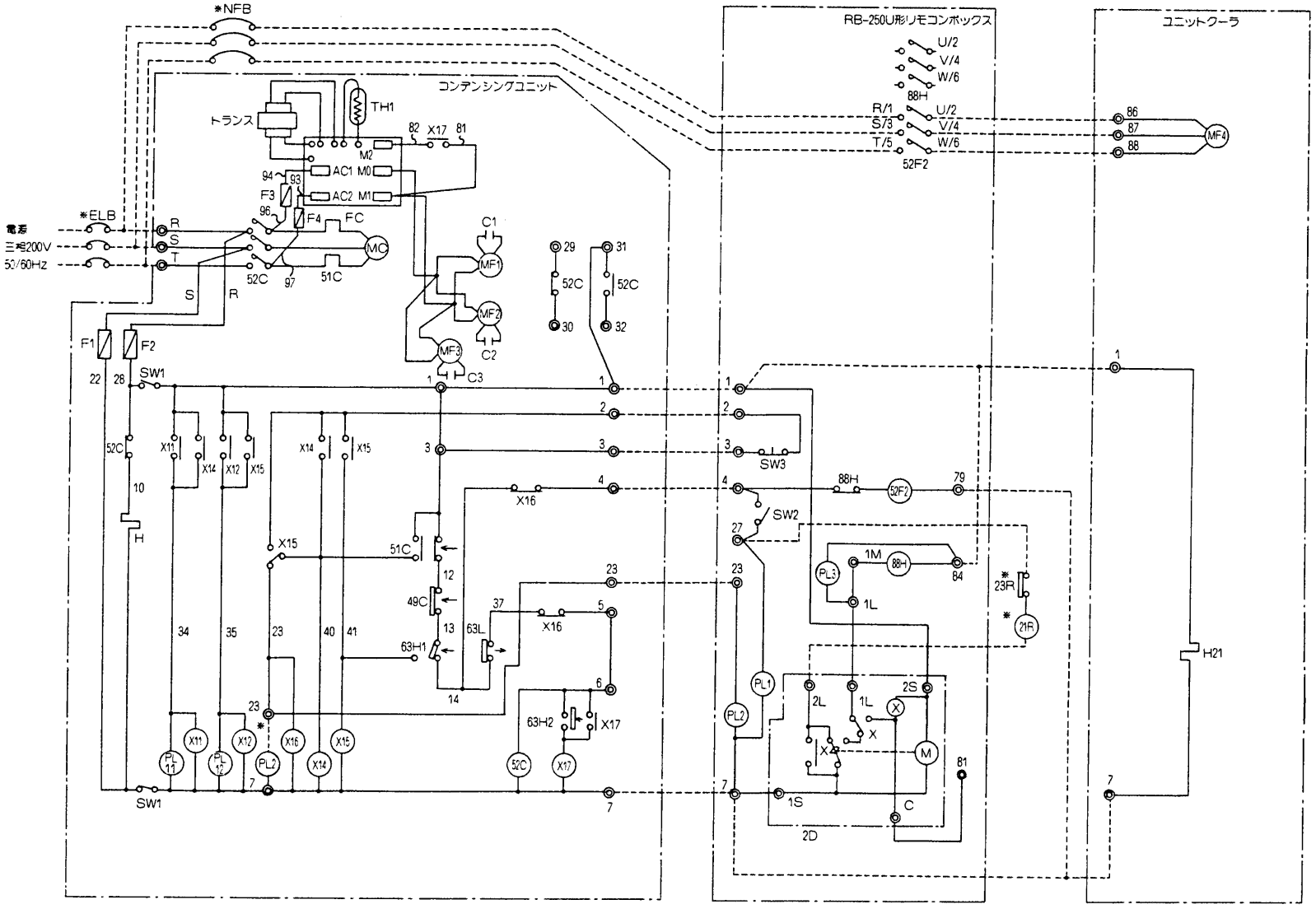
記　号	名　称
C1～9	コンデンサ〈送風機用電動機〉
FC	ファンコントローラ
F1～5	ヒューズ
H	電熱器〈クランクケース〉
H21	電熱器〈端子台〉
MC	圧縮機用電動機
MF1～3	送風機用電動機(コンデンシングユニット)
MF7～9	送風機用電動機〈ユニットクーラ〉
PL11	表示灯〈異常(過電流)・アカ〉
PL12	表示灯〈異常(高圧)・アカ〉
R1	中継基板接点〈運転〉
R2	中継基板接点〈庫内温度サーモ〉
R3	中継基板接点〈除霜〉
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
TH	サーミスタ〈庫内温度〉
TH1	サーミスタ〈ファンコントローラ〉
TR	トランス
X6～21	補助継電器
Z	バリスタ
21R	電磁弁〈液管〉
49C	温度開閉器〈圧縮機〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F	電磁接触器〈送風機〉
63H1	圧力開閉器〈高圧〉
63H2	圧力開閉器〈ファンコントローラ〉
63L1	圧力開閉器〈低圧〉
※ELB	漏電しゃ断機
※NFB	ノーヒューズブレーカ



② RB-250U形リモコンボックス使用例

リモコンボックス：RB-250U

注）1. ※印の機器は現地手配となります。
2. ……線は現地配線となります。
3. 接点部の矢印は，圧力温度が上昇または圧力差が増大した場合の接点の動作方向を示します。



記号	名称
C1~3	コンデンサ〈送風機用電動機〉
FC	ファンコントローラ
F1·2·3	ヒューズ〈制御回路·5A〉
H	電熱器〈クランクケース〉
MC	圧縮機用電動機
MF1~3	送風機用電動機
PL1	表示灯〈運転·ミドリ〉
PL2	表示灯〈異常·アカ〉
PL3	表示灯〈除霜·オレンジ〉
PL11	表示灯〈異常(過電流)·アカ〉
PL12	表示灯〈異常(高圧)·アカ〉
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
SW2	スイッチ〈運転~停止(ポンプダウン)〉
SW3	スイッチ〈異常リセット(押ボタンスイッチ)〉
TH1	サーミスタ〈ファンコントローラ〉
X2	補助継電器
X5,11,12,14~16	補助継電器
2D	タイムスイッチ〈除霜〉
49C	温度開閉器〈圧縮機〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F2	電磁接触器〈送風機〉
63L	圧力開閉器〈低圧〉
63H1,H2	圧力開閉器〈高圧〉
88H	電磁接触器〈電熱器〉
※ELB	漏電しゃ断器
※H21	電熱器〈端子箱〉
※MF4	送風機用電動機〈ユニットクーラ〉
※21R	電磁弁〈液管〉
※23R	温度調節器〈庫内〉

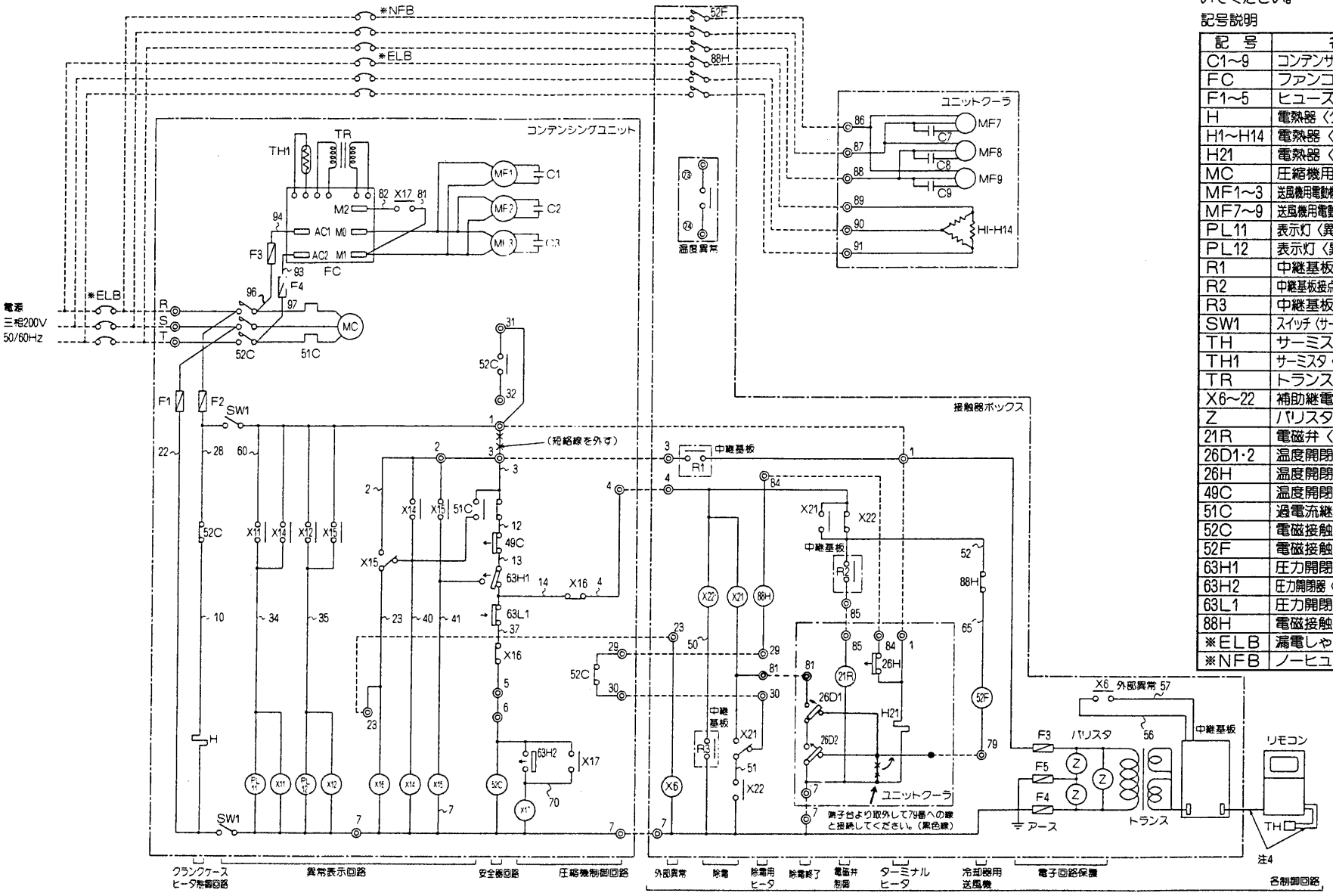
① マイコン式スタンダードシステム用コントローラ使用例(1クーラ)

コントローラ：RBL-8HSB･RBR-15HSB･RBR-6HSB･RBR-20HSB

注1．※印の機器は現地手配となります。
2．－－－線は現地配線となります。
3．接点部の矢印は，圧力・温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
4．主回路配線・制御回路配線に沿わさないでください。

記号説明

記号	名称
C1～9	コンデンサ〈送風機用電動機〉
FC	ファンコントローラ
F1～5	ヒューズ
H	電熱器〈クランクケース〉
H1～H14	電熱器〈除霜〉
H21	電熱器〈端子台〉
MC	圧縮機用電動機
MF1～3	送風機用電動機(コンデンシングユニット)
MF7～9	送風機用電動機〈ユニットクーラ〉
PL11	表示灯〈異常(過電流)･アカ〉
PL12	表示灯〈異常(高圧)･アカ〉
R1	中継基板接点〈運転〉
R2	中継基板接点〈庫内温度サーモ〉
R3	中継基板接点〈除霜〉
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
TH	サーミスタ〈庫内温度〉
TH1	サーミスタ〈ファンコントローラ〉
TR	トランス
X6～22	補助継電器
Z	バリスタ
21R	電磁弁〈液管〉
26D1･2	温度開閉器〈〈除霜終了〉
26H	温度開閉器〈過熱防止〉
49C	温度開閉器〈圧縮機〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F	電磁接触器〈送風機〉
63H1	圧力開閉器〈高圧〉
63H2	圧力開閉器〈ファンコントローラ〉
63L1	圧力開閉器〈低圧〉
88H	電磁接触器〈電熱器〉
※ELB	漏電しゃ断機
※NFB	ノーヒューズブレーカ

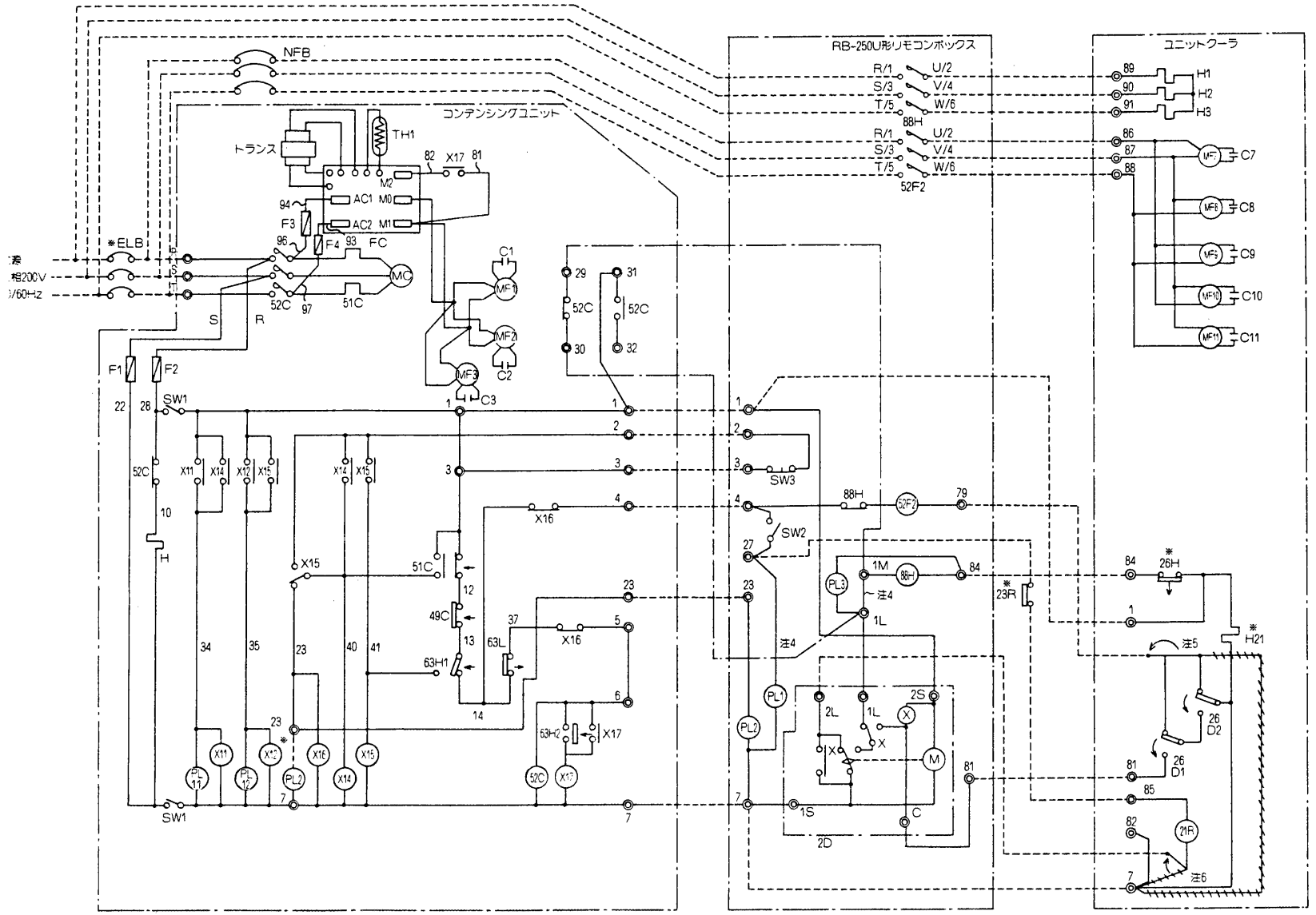


② 別売部品ＲＢ-250Ｕ形リモコンボックス使用例

リモコンボックス：ＲＢ-250Ｕ

注1．※印の機器は現地手配となります。
2．……線は現地配線となります。
3．接点部の矢印は，圧力温度が上昇または圧力差が増大した場合の接点の動作方向を示します。
4．圧縮機と除霜用電熱器の同時通電を防止する場合は，リモコンボックス内のIM-IL間の渡り線を外し，室外機の電磁接触器（52C）の接点を下記のように結線してください。

29－IM
（図中……線）
30－IL



記号	名称
C1~3	コンデンサ〈送風機用電動機〉
FC	ファンコントローラ
F1·2·3	ヒューズ〈制御回路·5A〉
H	電熱器〈クランクケース〉
MC	圧縮機用電動機
MF1~3	送風機用電動機
PL1	表示灯〈運転·ミドリ〉
PL2	表示灯〈異常·アカ〉
PL3	表示灯〈除霜·オレンジ〉
PL11	表示灯〈異常(過電流)·アカ〉
PL12	表示灯〈異常(高圧)·アカ〉
SW1	スイッチ〈サービス用手元スイッチ〉
SW2	スイッチ〈運転－停止(ポンプダウン)〉
SW3	スイッチ〈異常リセット(押ボタンスイッチ)〉
TH1	サーミスタ〈ファンコントローラ〉
X2	補助継電器
X5,11,12,14~16	補助継電器
2D	タイムスイッチ〈除霜〉
49C	温度開閉器〈圧縮機〉
51C	過電流継電器
52C	電磁接触器〈圧縮機〉
52F2	電磁接触器〈送風機〉
63L	圧力開閉器〈低圧〉
63H1,H2	圧力開閉給〈高圧〉
88H	電磁接触器〈電熱器〉
ELB	漏電しゃ断器
H1·2·3	電熱器〈除霜〉
H21	電熱器〈端子箱〉
MF4	送風機用電動機〈ユニットクーラ〉
21R	電磁弁〈液管〉
※23R	温度調節器〈庫内〉
26D1·2	温度開閉器〈除霜終了〉
26H	温度開閉器〈過熱防止〉

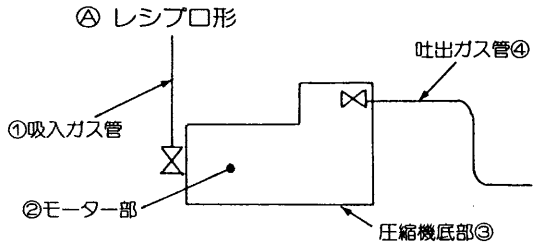
5．端子台⑦番より終了サーモの黒色の配線を外し，79番からの配線と接続してください。
接続部は防水テープを付けてください。
6．端子台⑦番より電磁弁の青色線（ワイヤーマーク白）を取外しタイムスイッチ（2D）の端子2Lからの配線と接続してください。

7. 試運転時のご注意

膨張弁の調整

膨張弁は製品出荷時調整済みですが，万一，圧縮機の吸入ガス管温表が下表の範囲を越えている場合は下記の要領で膨張弁を調整してください。

〈各部温度の目安〉

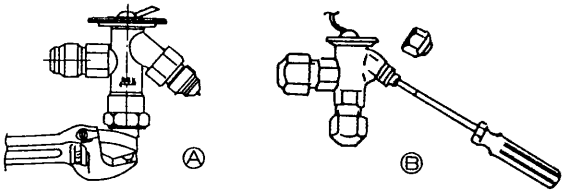


機種		UCH・UCL	
使用冷媒		R22	
庫内温度		0	−5
凝縮温度(℃)		47	47
蒸発温度(℃)		−10	−15
各部温度の目安	①吸入ガス管(℃)	0〜10	−5〜5
	②モータ部(℃)	30〜40	30〜40
	③圧縮機底部(℃)	40〜50	40〜50
	④吐出ガス管(℃)	100〜115	100〜115
圧縮機形式		Ⓐレシプロ形	

注1．電源　三相200V 50/60Hz
2．外気温度　20〜35℃

〈膨張弁の調整の仕方〉

膨張弁のスーパーヒートは右図で示すように調整スピンドルを時計方向（右回転）に廻すと……スーパーヒートは増加します。
反時計方向（左回転）に廻すと……スーパーヒートは減少します。



機種	工場出荷時の設定値(静止スーパーヒート)deg℃	調整スピンドル1回転当りのスーパーヒートの変化量 deg℃	図
UCH-2·3DNA UCL-2·3DHA	3	2	Ⓐ
UCH-4·5·6DNA UCL-4·5·6DHA	3	4	Ⓑ

注1．膨張弁の調整は，むやみに調整せず，時間をかけて安定させながら調整してください。
2．適正な運転状態が得られない場合は，冷媒チャージ量及び，配管工事や感温筒の取付方法などが適正か見直してください。

8. お手入れのしかた

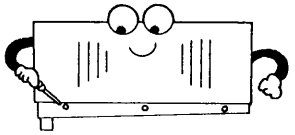
- 安全のため，お手入れの前に必ず電源スイッチを切ってください。
- 端子箱やファンモータには，絶対に水をかけないでください。
  故障（とくに漏電）の原因となります。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは，製品を傷めますので使わないでください。

キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは，中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き，その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。

ドレンパン

- ドレンパンの開けかた ― ドレンパン固定ネジを外してください。
- 清掃のしかた ― 布で内側のよごれを拭きとってください。



冷却器

- フィンを傷めないように目にそってハケ・ブラシなどで清掃してください。
- フィンで手を切らないように手袋をしてください。

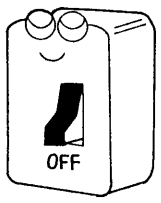
9. ようすがおかしいとき

●サービスをお申しつけの前につぎのことをお調べください。

全く運転しない

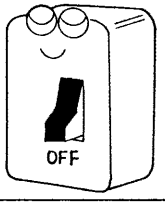
電源スイッチが切れていませんか

完全に入っていますか。
もう一度入れなおしてみてください。



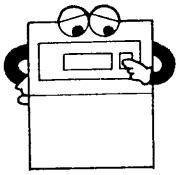
ブレーカが切れていませんか

完全に入っていますか。
もう一度入れなおしてみてください。



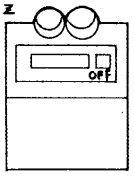
停電していませんか

リモコンの運転スイッチを
いったん切り，電源が復帰
してから再び入れてくださ
い。



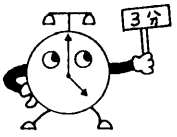
運転スイッチが切になっていませんか

リモコンの運転スイッチを再び
「入」にしてください。



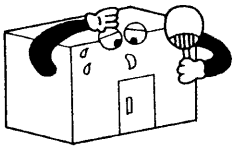
ショートサイクル停止中ではありませんか

3分間お待ちください。



庫内温度設定値が高くなっていませんか

設定値を見直してください。



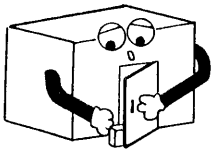
緊急停止中ではありませんか

リモコンの運転スイッチをいったん「切」にし，再び
「入」にしてください。

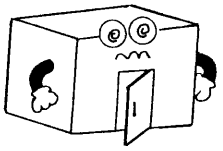
よく冷えない

扉があいていませんか。

異物などがはさまって隙間が
あいていませんか。

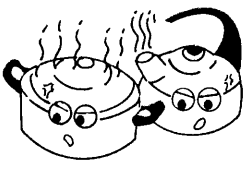


扉の開閉の回数が多くありませんか。



商品の温度が高すぎませんか。

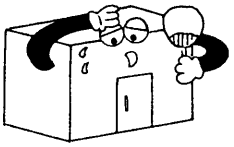
お湯，お茶などが高温状態で
入っていませんか。



発熱物がコンデンシングユニットの近くにありませんか。

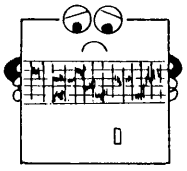
庫内温度設定が高すぎませんか。

温度設定値を見直してください。



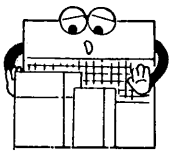
放熱器にゴミが付着していませんか。

16ページのお手入れのしかたをお読みください。



風通しが悪くなっていませんか。

ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。



吸込口が霜で目詰まっていませんか。

- それでも正しく運転しないときは工事店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス
- 当社営業所へご連絡ください。

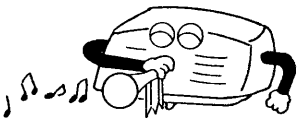
次の場合は故障ではありません

羽根の回転がいつもより遅い

ユニットクーラへの霜の付着量が増えてきますと，羽根の回転が目視で確認出来るようになります。これは霜付が多すぎる為に起こりますので，除霜時間の間隔を見直してください。

音がする(ユニットクーラ)

(1)ユニットクーラを目詰り状態で使用されますとパネル等からビビリ音が出ることがあります。これは，目詰りにより送風機へ静圧がかかったことにより起っていますので，除霜時間の間隔を見直してください。



(2)冷却・除霜運転開始後と停止後に「ピシッ」と音がすることがあります。これは，温度変化でパネルなどが膨張収縮してこすれる音ですので問題はありません。

10. 保証条件・アフターサービス

1 ■無償保証期間および範囲

無償保証期間は，据付けた当日を含め向う１ヵ年間とします。無償保証範囲は，故障した当該部品または弊社が交換を認めた部品とします。ただし下記使用法による故障の発生については，保証期間中であっても部品は有償支給となります。

2 ■保証できない範囲

(a) 機種選定，冷凍装置設計に不具合がある場合。

本工事説明書で指定した以外の制御機器を使用したり，指示事項および注意事項を遵守せずに工事を行った場合。また冷却負荷に対し明らかに過大過小の能力を持つユニットクーラを選定し，それが起因となって故障に至ったと弊社が判断した場合。

(b) 弊社の製品仕様を無断で改造した場合，または弊社製品付属および指定の保護機器を使用せずに事故となった場合。

(c) 指定の使用庫内温度範囲を守らなかったことによる事故の場合，規定外の電圧を印加したことによる事故の場合。

(d) 化学薬品，有害ガス等の特殊条件による腐食，ガス洩れ事故の場合。

(e) 天災，火災による事故の場合。

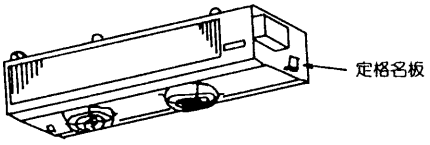
(f) 据付工事に不具合がある場合。

(g) その他，ユニットクーラの据付，運転，調整，保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での故障は，保証できません。またいかなる場合でもユニットクーラの故障に起因した冷却物の補償，および営業補償等の２次補償はいっさいいたしませんので当社代理店等と相談の上，損害保険で対処してください。

■万一異常がありましたら，ただちに運転を中止し運転スイッチを切り，お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス・当社営業所へご連絡ください。

●ご連絡の場合は，つぎの3点をハッキリお示しください。

1．冷却器ユニット形名(例：UCL-5DHA) ――― 定格名板に記載してあります。
2．製造番号 ―――
3．故障内容(できるだけくわしく)



11. 仕　様

(1) 仕　　様

① UCH-DNA

項目＼形名		UCH-2DNA	UCH-3DNA	UCH-4DNA	UCH-5DNA	UCH-6DNA
性能	冷却能力(kcal/h) 条件(TD10deg)	2800/3000	3650/3900	6300/6700	7300/7800	10400/11100
電源		三相 200V 50／60Hz				
送風機	運転電流(A)	0.57/0.7		1.14/1.4		1.71/2.1
	始動電流(A)	1.1/1.0		2.2/2.0		3.3/3.0
ヒータ電流(A)		－	－	－	－	－
風量	(㎥/min)	23/25	26/28	46/51	54/59	76/84
外形寸法	高さ×幅×奥行(mm)	344×1290×750	344×1540×750	410×2020×750	410×2280×750	425×3100×750
製品重量	(kg)	38	45	71	79	106

② UCL-DHA

項目＼形名		UCL-2DHA	UCL-3DHA	UCL-4DHA	UCL-5DHA	UCL-6DHA
性能	冷却能力(kcal/h) 条件(TD10deg)	2800/3000	3650/3900	6300/6700	7300/7800	10400/11100
電源		三相 200V 50／60Hz				
送風機	運転電流(A)	0.57/0.7		1.14/1.4		1.71/2.1
	始動電流(A)	1.1/1.0		2.2/2.0		3.3/3.0
ヒータ電流(A)		5.42	6.81	11.0	13.3	16.3
風量	(㎥/min)	23/25	26/28	46/51	54/59	76/84
外形寸法	高さ×幅×奥行(mm)	344×1290×750	344×1540×750	410×2020×750	410×2280×750	425×3100×750
製品重量	(kg)	40	47	74	82	110

警報システムの設置について

冷凍装置には，安全確保のため，種々の保護装置が取付られています。
万一，漏電ブレーカや保護回路が作動した場合に，警報システムや温度管理システムが十分でないと，長時間にわたり冷凍機の運転が停止したままになり，貯蔵品の損傷につながります。
適切な処置がすぐできるよう，警報装置の設置や，温度管理システムの確立を計画時点でご配慮くださるようお願いいたします。

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

本社	東京都千代田区大手町2－2－2〈日本ビル〉	〒100	03-3279-8090……大代表
北海道支社	札幌市白石区本通20丁目南4－2	〒003	011-862-0082……代表
東北支社	仙台市青葉区大町1－1－30〈新仙台ビル〉	〒980	022-224-1222……代表
東京支社	東京都港区芝公園2－4－1〈秀和芝パークビル〉	〒105	03-5470-2805……代表
北関東支社	大宮市大門町3－197〈星野第2ビル〉	〒330	048-641-3328……代表
東関東支社	千葉市中央区栄町36－10〈住友商事ビル〉	〒260	043-225-3828……代表
横浜支社	横浜市西区みなとみらい2-2-1〈横浜ランドマークタワー14F〉	〒220-81	045-224-2052……代表
北陸支社	富山市総曲輪1－5－24〈日本生命富山ビル〉	〒930	0764-32-0048……代表
中部支社	名古屋市中区栄4－1－1〈中日ビル〉	〒460	052-263-7635……代表
大阪支社	大阪市北区梅田2－5－2〈新サンケイビル〉	〒530	06-344-1197 ……代表
中国支社	広島市中区中町7－22〈住友生命平和大通りビル〉	〒730	082-248-2897……直通
四国支社	高松市番町1－6－1〈住友生命高松ビル〉	〒760	0878-22-6063……代表
九州支社	福岡市博多区博多駅前2－1－1〈福岡朝日ビル〉	〒812	092-474-8241……代表

三菱電機株式会社

本社産業冷熱営業部	東京都港区赤坂5－2－20〈赤坂パークビル〉	〒107	03-5573-3691……直通
北海道支社冷熱住設課	札幌市中央区北二条西4－1〈北海道ビル〉	〒060-91	011-212-3735……直通
東北支社冷熱住設課	仙台市青葉区上杉1－17－7〈三菱電機・明治生命仙台ビル〉	〒980	022-216-4612……直通
新潟支社冷熱住設課	新潟市東大通2－4－10〈日本生命ビル〉	〒950	025-241-7224……直通
北関東支社冷熱住設課	大宮市大成町4－298	〒331	048-653-0251……直通
東関東支社冷熱住設課	千葉市中央区新千葉2－7－2〈大宗センタービル〉	〒260	043-241-8432……直通
神奈川支社冷熱住設課	横浜市西区みなとみらい2－2－1〈横浜ランドマークタワー〉	〒220-81	045-224-2621……直通
北陸支社冷熱住設課	金沢市広岡町3－1－1〈金沢パークビル〉	〒920	0762-33-5503……直通
中部支社冷熱住設部	名古屋市中村区名駅3－28－12〈大名古屋ビル〉	〒450	052-565-3221……直通
関西支社冷熱住設部	大阪市北区堂島2－2－2〈近鉄堂島ビル〉	〒530	06-347-2341 ……直通
中国支社冷熱住設部	広島市中区中町7－32〈日本生命ビル〉	〒730	082-248-5411……直通
四国支社冷熱住設部	高松市寿町1－1－8〈日本生命高松駅前ビル〉	〒760	0878-25-0066……直通
九州支社冷熱住設部	福岡市中央区天神2－12－1〈天神ビル〉	〒810	092-721-2190……直通

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

WT01606X02